



ぽかぽか

新しい年が明けました。今年こそボランティアをはじめたい!と思っている方も多いことと思います。ボランティアにはどんな活動があるのか?センターでは様々な情報を皆さんに発信していきます。



視覚障がい者支援ボランティア 「アイ」の活動

スルーネット ピンポン

盲人

卓球

* * * * *
ガイドヘルプボランティア講座受講生
で立ち上げたグループ。
視覚障がい者の外出支援や読書会の開
催、卓球など、幅広く活躍している。
* * * * *

「いきます!」「はい!」の掛け声とともに激しい卓球のラリー。この日は月に一度、保健福祉館の一室で視覚障がい者とボランティアが集まって卓球をする日です。スルーネットピンポンは専用の道具を使って年齢・性別・視力の違いなどに関係なく誰もが楽しめるスポーツです。球の中に鉛が数個入っているのでその音を頼りにラケットで打ち返し、ネットの下を転がして点数を競います。想像よりもずっと早いスピードで迫力があり、球が台から落ちてもすぐにボランティアが拾って球出しをするのでプレーが中断されません。

寒い日でしたが、半袖姿の男性は自分の番が終わるとうちわであおいで汗を乾かしていました。途中休憩ではガイドヘルプの他地域の現況を質問しあったり、「ゴミの分別が変わったねえ」と生活の情報交換をしたりと和気あいあいとした雰囲気でした。



視覚障がい者協会の皆さんの声

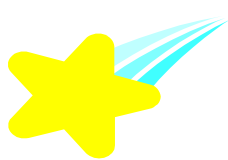
「以前は千葉市まで卓球をしに行っていたので福祉館を利用できることと、いつも「アイ」さんが来てくれることは本当に恵まれていると思います。」 「ボランティアさんは大変なこともあるかもしれませんが、私たち障がい者が楽しんでいる様子を見て、喜んで活動してくださっているのだと思っています。」



ボランティアメンバーさんの声

「自分はお手伝いをしているという感覚はなく、一緒に楽しく運動させてもらっています。」
「点数を数えるのが難しい。目の見えない方がしっかり点数を把握しているのがすごいと思います。」
「視覚障がい者の皆さんはこういった機会がないとなかなか外出するきっかけがないので、こういう場で仲間が集まれるのはよいことだと思います。」

今回参加してみてお互いの信頼関係が深いことを感じました。対戦相手や球拾いだけでなく、卓球台の設置・片付け・次回の予約など細やかな支援を続けている「アイ」さん。外出介助の他にもこういった活動もしています。



講座の実施報告



11月に「昔あそびボランティア養成講座」を開催しました。「子供たちに昔あそびを教えながら一緒に楽しく遊びたい」という思いを持つ方が集まりました。

講座では子供との接し方や注意することを学び、昔を思い出しながら遊びの実技を行いました。青竹で竹とんぼを作りましたが、羽根の薄さの調整をしながら小刀で薄く削るのは難しそうでした。「子供達にも安全な小刀の使い方を教えたい」と思ったり、「お手玉の中に入れる量はこんな感じ?」などと話したりしながら、出来上がった作品で楽しく遊びました。

得意なコマ廻しや竹とんぼを飛ばしている皆さんは子供にも負けられないようなキラキラした笑顔でした。

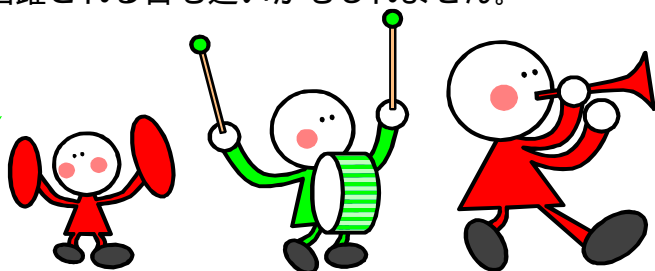


手づくりお手玉

竹とんぼの材料

グループが生まれそうです！！

講座に参加してボランティアの一步を踏み出した皆さん。他のグループの子育て支援のお手伝いをしながら、体験を重ねて、自分たちの思う活動を始めることになりました。今度は大きな一步を踏み出した皆さん！まだグループ名も決まりませんが、地域で活躍される日も近いかもしれません。



参加者の声

1回目の講座はボランティアに関わった際の注意や子供達への言葉かけなど、とても勉強になりました。2回目は竹とんぼ・お手玉づくりの体験はとても楽しく、手作りの良さを知りました。これからボランティア活動に参加し、頑張っていきたいと思います。

すごく楽しかったです。子育てにも生かせそうです。コマ廻しができた時の喜びを子供達に味わってもらいたい。こういう遊びの楽しさを今の子供達にも体験してもらいたい。

ボランティア募集

病院内の付き添い

車椅子利用の高齢者が日赤病院に通院中です。

- ・月に1回程度の活動となります
- ・院内で車いす介助
- ・薬取り

子供の見守り

こども発達支援センターに通うお子さんの兄弟を見守ります。

- ・2歳未満の女の子です
- 時間：10時～12時
場所：成田市保健福祉館
こども発達支援センター

ボランティアを募集しています。皆様のご協力をお願い致します。

お問い合わせ先

ボランティアセンター 0476-27-8010

お知らせ

小さなキャップが大きな力に！

～エコキャップで環境に優しい国際協力～
エコキャップを集めることで世界の子どもにワクチンを届けることができます。ボランティアセンターに回収箱を設置しております。

キャップ800個（約2キロ）で1人分のワクチンになります。

「ご寄附ありがとうございました」

平成24年1月から7月までの回収量
103,200個。129人の子供たちにワクチンを届けることができました。

編集後記

新しい年を迎え、ボランティアセンターではまたたくさんの出会いが生まれます。

参加して下さるお一人お一人、新しいグループ、ボランティアの受け入れ施設の方々、それぞれの出会いの輪がさらに広がっていきますように。コーディネーター一同、ボランティアの皆様の熱い思いを大切に受け止めお役に立ちたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

